

随意契約理由書

件名	東クリーンセンタークレーン設備改良工事
契約の相手方	富士ホイスト工業株式会社
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に該当
<p>随意契約の理由</p> <p>今回のクレーン設備の部分更新は、接続した機器と密接不可分の関係にあり、既存設備との調整が不可欠である。また、当該設備並びに既存設備の取合いに係る技術的な知識を必要とする。設置者以外のメーカーが、部分的な改良を加えることで延命化とCO2削減を図り、既存設備と調整しながら部分更新を行うことは極めて困難である。仮に当初設置者以外のものに施工させた場合、不具合が生じた際の責任の所在や、原因の特定が困難となり、継続的、安定的なごみ焼却に重大な支障が生じる。</p> <p>故に、本工事(既存クレーン設備の部分更新)が施工できるのは、当該クレーン設備の設計、製作及び据付を行ったメーカーのみとなる。</p> <p>以上の理由から、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に該当し、当初クレーン設備を設置した富士ホイスト工業株式会社と随意契約を行う。</p>	
担当部署 (問合せ先)	環境局施設課(電話番号 078-595-6165)